

昭和13年完工  
円筒型サイフォン式分水池  
(初期型ともいえるオリフィス仕様)



標高差を利用したサイフォンで、池の中央から水を噴き出させている

オリフィス  
180の放水孔から出た水を7本の水路に分配。受益面積に応じた穴の数で分配比率を調整。



# 流血の争いを終わらせた「目に見える」公平さ

心洗われるような水音に誘われ近づいてみると、そこには清冽な水が中央から湧き上がる円形の池。その側面に穿たれた180もの穴からもコロコロと水音が。

実は、この池は長年の水争いから地域を解放した立役者。貴重な水をめぐる争いは、水不足だけでなく分配方法に起因するものも少なくありません。線香で時間を区切って配分するなどの方法もあったものの、ここ美郷のように10の集落の規模や水利権に応じて細かい比率で正確に分配することが求められる場合、誰が見ても納得する公平さを確保するのは至難の業。それが、明治から大正にかけて日本人が発明した「円筒分水池」の登場によって、水争いのない奇跡の島国が誕生したのである。

水田が青々と風に揺れる季節には、豊かな水を噴き出す姿が風物詩にもなっています。今なお現役で活躍している円筒分水池は全国で200ほど。そんな池を探しに、里に、町に繰り出してみませんか。

## 円筒分水池アラカルト



### 水の歴史公園「徳水園」

昭和32年築造。サイフォン原理の円筒分水池では日本一の大きさで迫力がある。公園化されているので見学もしやすい。  
●岩手県奥州市胆沢区若柳土橋地区



### 下九沢分水池

巨大な石積みのですり鉢に囲まれたコロッセウムのような佇まいが住宅地に。相模川の水を川崎市と横浜市に分配している。  
●神奈川県相模原市緑区下九沢



### 東山円筒分水槽

SNSなどで「日本一美しい円筒分水」とも言われ、国の登録有形文化財へ。配分された水が3方向に流れるのも目視できる。  
●富山県魚津市東山地内

文・イラスト・写真  
市原千尋



### Profile

全国2,500基のダムをはじめ、訪れた池は全国1万以上。地域とどりの池の役割、歴史や魅力をブログで毎日発信。著書に「日本全国 池さんぽ」(三オックス)。



【運営ブログ】水辺溜路  
<https://bunbun.hatenablog.com>